

福岡県はフードバンク活動の普及・促進に取り組む
(一社)福岡県フードバンク協議会を応援しています。

～ 社会の現状 ～

もったいない、捨てられている！

日本では、**食品ロス（まだ食べられるのにそのまま捨てられる食品）**が600万トと推計され、これは国民1人1日当たり茶碗約1杯のご飯の量（130g）を無駄にしています。

(平成30年度推計 農林水産省食糧産業局)。

食事に困っている人がいる。

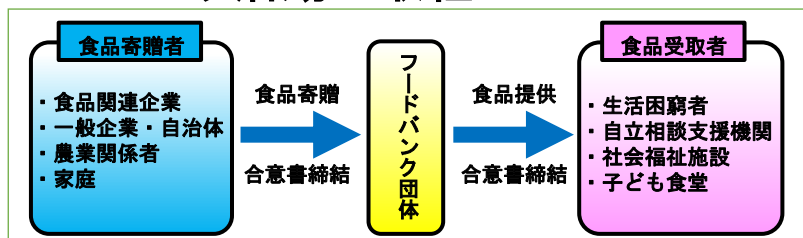
約7人に1人の子どもが貧困であり（相対的貧困率14.0%）、子育てと家事、生計をひとりで担わなければならないひとり親世帯については、貧困率が48.3%にも及びます。

(令和元年 国民生活基礎調査)。

～ 福岡県内のフードバンク活動の取組 ～

フードバンク活動とは

食品ロスを食品寄贈者から無償で受け、生活困窮者などの食品を必要とされる方々に無償で提供している活動です。



「食品ロスの削減」と「食品を必要とされる方々」へ貢献

問題点

- 非営利なので、資金と人手が不足
- 認知度が十分でない
- このため、持続可能な活動が困難。

フードバンク団体を 支援する仕組みが必要

福岡県が設立支援

社会システムの構築

（一社）福岡県フードバンク協議会の設立（平成31年4月1日）

- 福岡県内全域を対象
 - 安定的で持続可能な地産地消型（※）の食品ロス削減システムを構築・運営
- （※）福岡県内で発生した食品ロスを福岡県内で消費する仕組みで、食品輸送が効率化

～ 協議会の役割 ～

- ・ 寄贈食品の受付（窓口の一本化）と管理
- ・ 食品寄贈企業や支援企業等の開拓
- ・ 既存のフードバンク団体の活動範囲拡大及び新規フードバンク団体の立上げ支援などの支援事業
- ・ フードバンク活動支援システムの運用①～④
- ・ 啓発活動、政策提言を含む広報事業

